

令和 7 年賀詞交歓会開催

新春恒例の当協会賀詞交歓会が 1 月 10 日（金）12 時 30 分から、冬晴れの中、東京・大手町の KKR ホテル東京 10 階「瑞宝の間」において開催された（写真）。

今年も、多数の会員の皆様に加えて、農林水産省消費・安全局植物防疫課・小宮課長、横浜植物防疫所・森田所長、東京支所・村井支所長をはじめ植物検疫当局の要職の方々、並びに（一社）全国植物検疫協会、近在地域協会、関係団体の方々にご出席をいただき、盛会であった。

開会にあたり、福島会長から以下の年頭のあいさつがあった。

『明けましておめでとうございます。』

本日は、ご来賓及び会員の皆様方には新年のお忙しい中、賀詞交歓会にこのように多数ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃から当協会の業務にご理解を賜りこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年が皆様にとりまして実り多い、良き一年となりますようお祈り申し上げます。

本日はご来賓として、ご多忙のところ、農林水産省消費・安全局植物防疫課課長小宮英稔様、横浜植物防疫所所長森田富幸様、同所東京支所長村井覚様をはじめ、関係当局及び関係団体の方々にご多数ご出席頂いております。

のちほど小宮課長様、森田所長様からご挨拶をいただくこととしております。お二方におかれましてはどうぞよろしくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、先ずは元旦に発生した能登半島地震に始まり、台風や前線による豪雨など災害が多い年でありました。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに被災した皆様にご心からお見舞い申し上げます。また一刻も早い復旧・復興を願っております。本年が平穏であることを望みます。

世界に目を向けますと今なお続くロシアによるウクライナ侵攻をはじめイスラエルとハマス・ヒズボラとの紛争、シリアのアサド政権の崩壊、東アジアでも米中の対立やロシア・北朝鮮の軍事同盟の締結、年末の韓国における大統領弾劾など、世界各地で紛争が発生し、対立と分断が顕著となっています。これらは貿易への影響や、特に

アジアでの動きは地政学的な観点からも離せません。

一方、パリ・オリンピック、パラリンピックが開催され、その平和の祭典で日本選手団の活躍がありました。また日本原水爆被害者団体協議会「被団協」がノーベル平和賞を受賞するなど平和の重要性が再認識されています。あらためて平和を切に望む次第です。

経済面では、我が国は昨年 17 年ぶりにマイナス金利が解除されましたが、引き続きドル高・円安傾向が続いて

おり、ガソリンや食料品等の価格上昇などにより私たちの生活に影響を及ぼしています。

さらに、アメリカではこの 1 月に「アメリカ第 1」を掲げるトランプ氏が再び大統領に就任します。報道によれば、輸入品に高関税を課し保護主義的な施策をとると宣言しており、これも我が国に影響を及ぼす

恐れがあります。

私たちも、この難局を何とか乗り越えなければと考えております。

ところで、当協会の業務につきましては、関係当局のご指導や皆様のご協力の下、昨年も順調に、円滑に対応できたものと思っております。

今後も輸入検疫の見直しや輸入禁止植物の輸入解禁などが行われる、と思っておりますので、これらの情報を早期に把握し、会員の皆様に情報提供するとともに、具体化した事項につきましては的確、確実に対応いたします。

引き続き関係する皆様のご指導、ご協力の下、植物検疫業務が円滑に進められるよう協会業務を実施することとしているのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は時間の許す限り新年を寿ぎ、ご歓談いただきまますようお願い申し上げます。『続いて小宮植物防疫課長及び森田横浜所長のあいさつ（別掲）の後、三島副会長の乾杯の発声で開宴となり、和やかな雰囲気の中、会場いっぱい新春の語らいの輪が広がった。

歓談が尽きない中、参会者各位の益々の繁栄と当協会の発展を祈念して、小野専務理事の音頭で全員による三本締めでお開きとなった。（佐藤 勉）



新年を迎えて

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課長 小宮 英稔^{こみや ひでとし}
令和 7 年を迎え、皆様に新年のお喜びを申し上げます。

本日は、東京植物検疫協会の賀詞交歓会にお招きいただきありがとうございます。

また、東京植物検疫協会の会員の皆様、事務局の皆様におかれましては、日頃より、我が国の植物検疫の実施に際し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

本稿では、新年のあいさつとして、植物検疫行政における最近の動きと抱負を申し上げます。

はじめに、昨年は、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、病害虫の発生・まん延の防止に必要な施策を講じることが掲げられました。現在、基本法に基づく基本計画を策定中ですが、その中に、植物検疫、病害虫防除をしっかりと位置付けていくことは、年初からの大仕事だと思っております。

また、昨年を振り返りますと、我が国では、暖冬と長い夏のせいで、例年になく病害虫が活発な年でした。特に、水際検疫にあつては、温暖化の影響で世界的にも病害虫の発生分布が拡大しており、一部品目について緊急的に輸入を止めざるを得ない事例や、輸出国における検疫措置の実施の監視を強化するため、試行的にモニタリング検査を導入する事例もございました。

当課は、このような傾向は、今後も続くと思っており、また、旅客の携帯品検査も増加する中で、我が国の農業生産の安全を図るためには、水際検疫の強化につながる検査の高度化・合理化が不可欠であると考えております。

具体的には、水際検疫の DX 化に向け、AI を活用した X 線検査技術の国際郵便物検査への導入や、インターネット上の膨大な情報から、違法に持ち込まれた植物の情報を収集するスクレイピング等の技術の活用による監視の強化、更には、e Phyto システムの導入を視野にいくつかの国との試験接続を実施すべく検討を進めているところです。

また、この他の情勢として、令和 5 年の改正植物防疫法の施行により新たに有害植物に位置付けられた「草」については、各種草による被害の態様を踏まえて、リスクを適切に評価可能な手法の開発を進めているところであり、専門家にも意見をいただきながら、実行可能な検疫措置の導入に向けた検討を進めてまいりたいと考えています。

輸出検疫については、令和 5 年に登録検査機関制度を開始し、現在までに、検査会社及び流通系の法人等、幅広い業種から 14 法人が登録されており、より多様な検査ニーズに対応できる体制の整備が進んできました。登録検査機関の活用は、輸出検査の効率化において不可欠であることから、皆様の一層のご活用をお願いいたします。

諸外国との植物検疫協議については、今後の輸出拡大には、産地負担の軽減を図るため、検疫条件の緩和が重要と

考えております。昨年はニュージーランド向けかんきつ類の条件緩和を実現しました。本年は、ブラジル向け精米、タイ向けかんきつ類等の条件緩和協議を進めてまいります。加えて、タイ向けゆず・きんかん、米国向けさくらの切り枝、豪州向けメロンなど、計 14 か国、46 件の輸出解禁協議を進めてまいります。

以上、植物検疫行政における最近の動きと抱負を申し上げます。気候変動等により病害虫の発生動向が変化する、インバウンドをはじめとする国際物流が活発化するといったように、植物防疫を巡る状況は常に変化しているところですが、我が国の農業の安定生産・発展に向け、皆様との連携を密にしつつ尽力していく所存ですので、本年も皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

横浜植物防疫所 所長 森田 富幸^{もりた とみゆき}

令和 7 年の新年を迎え、皆様には新春のお慶びを申し上げます。

本日は、東京植物検疫協会賀詞交歓会に参加させていただき、感謝申し上げます。ご出席の皆様には、日頃から植物検疫事業の円滑な推進に多大なるご理解とご協力を賜り、本席をお借りして厚く御礼申し上げます。

植物防疫所におきましては、本年も迅速かつ的確な植物検疫業務を行って参る所存ですので、引き続き宜しく願いたいします。

この機会に、植物防疫所の状況をお話しさせていただきます。

【輸出入貨物検査実績（横浜管内）】令和 6 年（2024 年）の横浜管内における数量ベースの輸出入貨物検査実績（速報値）は、輸入では、各品目とも前年と比べてほぼ横ばいとなりました。油料・肥飼料・その他雑品等（108%）のうち、バイオマス燃料用植物（112%）の輸入量は年々増加しており、コロナ禍前の 2019 年との比較では 3 倍以上（308%）にも達しています。

輸出では、前年に比べて栽植用球根（332%）、まめ類（284%）、嗜好香辛・薬染料・その他食品（163%）が増加した一方、切花（76%）、木材（76%）は減少、それ以外の栽植用植物や生果実等はほぼ横ばいでした。

【輸入検疫】令和 5 年 8 月 5 日から、貨物で輸入される植物について、輸出国政府が発行する検査証明書の添付が厳格化されました。同日以降、穀類等の一部の植物において検査証明書の原本の到着が間に合わなかった場合に検査証明書のコピーで輸入検査とその後の合格証明書発行まで行う暫定的な措置を設けましたが、この対応も昨年 8 月 4 日に終了したところです。

一方で、近年は輸出国の確認システムにより検査証明書の真正性を確認できる国・地域が増えつつあり、本年 1 月 1 日現在、30 の国と地域でその確認が可能となって

います。

このように、検査証明書をめぐる状況は変化していますが、検査証明書の着実な取得・添付に、引き続き、皆様のご協力をお願いします。

また、検査証明書の添付厳格化に伴い、輸出国において、再循環式やDeep Probe式といった、実績のあまりない方式で本船くん蒸された穀類等が輸入される事例が確認されており、この中には高濃度の残存ガスが検出された危険な事例もありました。つきましては、植物検疫における危害防止対策の徹底を改めてお願いします。

【電子植物検疫証明書 (ePhyto)】続いて、電子植物検疫証明書 (ePhyto) について触れさせていただきます。国際植物防疫条約 (IPPC) 事務局において、多国間で電子植物検疫証明書 (ePhyto) を交換するための中継システムが開発され、2018 (平成30) 年6月から運用が開始されています。運用開始から既に6年半が経過し、本年1月1日現在で90か国以上がこのePhytoを利用できる状況になっていますが、ご承知のとおり我が国では利用ができない状況にありました。

このため、我が国でも来年度の政府予算案においてePhytoを開発・実装する予定としており、本年10月予定の輸出入・港湾関連情報処理システム (NACCS) の大規模更改にあわせ段階的に運用を開始することとしています。なお、夏以降に会員の皆様を含めた輸出入者向けの「ePhyto説明会」を開催する予定ですので、今しばらくお待ちいただけますと幸いです。

【輸出検疫】輸出検疫関係では、登録検査機関の積極的な活用に加えて、輸出者からのニーズに迅速に対応するため令和5年度からリモート検査を導入しています。これまでは小麦粉、赤玉土などを対象に実施してきましたが、昨年は凍結品、製材などを新たに対象品目として追加しました。今後ともより多くの方にご利用いただくように努めてまいります。

以上、簡単に最近の動向を説明いたしました。植物防疫所としては、昨年の改正植物防疫法の施行も踏まえ、引き続き適切に植物検疫を推進していく所存ですので、関係の皆様による植物検疫への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が東京植物検疫協会、並びに会員各社、皆様方にとって良い年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

----- 会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和6年10月1日～令和6年12月31日) -----

☆入会会員

11月1日 (株)ダイドウトランスプラネット [運輸] 〒231-0005 横浜市中区本町2-14 ☎ 045 (641) 8036

☆社名変更

10月1日 和光食糧豆類販売(株) ← 和光食糧(株)

☆退会会員

11月20日 ティーエム(株)

▶ タイム eye ◀

業務グループ パキスタン産チョウサ種マンゴウ

東京港初入港

10月16日青海埠頭入港【PHEN BASIA】号でパキスタン産チョウサ種マンゴウ生果実が東京港に初めて輸入され、検査結果は合格であった。



平成23年1月31日に条件付きで輸入が解禁され、海港の輸入としては初めての輸入となる。パキスタンはウリミバエ及びミカンコミバエ種群の発生国の為、寄主植物の生果実は輸入禁止対象となっており、条件に適合したもののみ輸入可能となっている。

輸入時の主な条件は、パキスタンで生産されたシンドリ種及びチョウサ種のマンゴウの生果実であること。指定された蒸熱処理施設において、飽和蒸気を使用して、生果実の中心部の温度を摂氏47度とし、その温度以上で25分間消毒すること。こん包については、① 消毒された生果実は、ミバエ類の侵入するおそれがないと認められる材料によりこん包されていること。② ①のこん包は、ミバエ類の侵入するおそれがないと認められる場所で行われていること。③ 各こん包又は束ねたこん包には、パキスタン植物防疫機関による封印がなされていること。また、輸出植物検疫が終了している旨及び仕向け地が日本である旨の表示をすることなどがある。

パキスタン産マンゴウは濃厚な甘みと芳醇な香りが特徴で、特に甘さに関しては糖度24度にも至るといわれ「世界一甘いマンゴウ」と称されている。

「世界一」の濃厚な甘みを是非とも一度食してみたいかがでしょうか。

(萩原 貴史)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 12月累計)

品 目	単 位	コンテナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	74	2,121,568	55,600	0	0	2,121,568	55,600
栽植用球根類	個	101	20,870,357	0	0	0	20,870,357	0
アマリリス	"	5	46,512	0	0	0	46,512	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	92	18,809,145	0	0	0	18,809,145	0
栽植用種子	kg	340	3,721,498	1	0	0	3,721,498	1
草花・樹木	"	2	21,503	0	0	0	21,503	0
野菜	"	158	706,276	1	0	0	706,276	1
普通・特用作物	"	50	749,097	0	0	0	749,097	0
牧草・芝草	"	113	2,111,868	0	0	0	2,111,868	0
切花、切葉、切枝	個	2,668	381,813,253	1,030,028	0	0	381,813,253	1,030,028
アンズリューム	"	0	96,804	4,888	0	0	96,804	4,888
オンシジューム	"	117	5,530,005	40,450	0	0	5,530,005	40,450
キク	"	1,579	162,000,385	90,560	0	0	162,000,385	90,560
シダ(レザーフアン)	"	132	20,843,200	0	0	0	20,843,200	0
果 実	kg	7,096	118,428,988	7,605,083	296,037,063	220,726,308	414,466,051	228,331,391
オレンジ	"	618	10,992,386	17,451	0	0	10,992,386	17,451
グレープフルーツ	"	106	1,922,955	0	0	0	1,922,955	0
タンジェロ(ミネオラ)	"	47	984,399	0	0	0	984,399	0
レモン	"	296	5,701,376	17,685	0	0	5,701,376	17,685
パイナップル	"	850	12,958,979	3,127,017	23,456,888	21,135,683	36,415,867	24,262,700
バナナ	"	2,370	39,796,127	4,290,401	238,676,863	199,590,625	278,472,990	203,881,026
マンゴウ	"	47	248,329	0	0	0	248,329	0
キーウイフルーツ	"	648	11,457,541	0	33,885,756	0	45,343,297	0
ブドウ	"	182	2,691,025	0	0	0	2,691,025	0
野 菜	kg	13,772	278,163,924	1,342,520	1,296	0	278,165,220	1,342,520
カボチャ	"	507	12,385,494	1,285,375	0	0	12,385,494	1,285,375
サヤエンドウ(キヌサ)	"	17	146,729	0	0	0	146,729	0
パプリカ	"	50	407,490	5,785	0	0	407,490	5,785
メロン(ハミウリ含む)	"	48	857,730	0	0	0	857,730	0
キャベツ	"	315	7,178,460	0	0	0	7,178,460	0
セロリ	"	15	239,767	32,172	0	0	239,767	32,172
ナガネギ	"	2,060	30,014,615	0	0	0	30,014,615	0
ニンニクの芽	"	27	1,348,453	0	0	0	1,348,453	0
ハクサイ	"	0	79,680	0	0	0	79,680	0
ブロッコリー	"	106	1,256,829	0	0	0	1,256,829	0
レタス	"	245	2,865,795	0	0	0	2,865,795	0
タマネギ	"	5,144	126,063,009	0	0	0	126,063,009	0
ニンニク	"	648	12,265,528	0	0	0	12,265,528	0
アスパラガス	"	0	965	0	0	0	965	0
ゴボウ	"	289	7,633,780	0	0	0	7,633,780	0
サトイモ	"	42	872,578	0	0	0	872,578	0
ショウガ	"	319	7,270,087	0	0	0	7,270,087	0
ニンジン	"	1,400	36,170,320	0	0	0	36,170,320	0
こく類	kg	8,698	181,512,480	160,462	136,486,197	0	317,998,677	160,462
オオムギ	"	61	1,300,362	0	0	0	1,300,362	0
エンバク	"	383	8,619,639	0	0	0	8,619,639	0
コムギ	"	180	3,503,589	0	136,485,654	0	139,989,243	0
コメ	"	2,092	41,502,027	0	0	0	41,502,027	0
ソバ	"	383	7,762,754	40,442	543	0	7,763,297	40,442
トウモロコシ	"	310	5,722,707	0	0	0	5,722,707	0
モルト	"	5,145	110,460,112	0	0	0	110,460,112	0
まめ類	kg	8,962	179,255,233	304,322	0	0	179,255,233	304,322
エンドウ	"	86	1,853,710	0	0	0	1,853,710	0
ダイズ	"	8,403	168,202,676	304,322	0	0	168,202,676	304,322
ラッカセイ	"	209	4,406,291	0	0	0	4,406,291	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	4,379	68,518,472	40	0	0	68,518,472	40
カカオ	"	16	167,573	0	0	0	167,573	0
コーヒー	"	58	367,686	0	0	0	367,686	0
タバコ	"	640	11,664,280	0	0	0	11,664,280	0
アーモンド	"	1,162	20,369,631	0	0	0	20,369,631	0
クリ	"	19	236,184	0	0	0	236,184	0
クルミ	"	578	9,965,173	0	0	0	9,965,173	0
ポップコーン	"	433	8,715,536	0	0	0	8,715,536	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	26,722	611,323,938	18,480	0	0	611,323,938	18,480
乾燥牧草(ヘイ)	"	20,000	470,558,383	0	0	0	470,558,383	0
アニマルフィード	"	26	345,698	19	0	0	345,698	19
アルファルファ(ペーパー・ペレット)	"	1,334	33,701,486	0	0	0	33,701,486	0
コーンコブミール	"	44	1,073,719	0	0	0	1,073,719	0
飼料大豆カス、ペレット	"	478	11,352,979	0	0	0	11,352,979	0
ビートパルプペレット	"	98	2,082,389	0	0	0	2,082,389	0
イネワラ	"	233	3,713,398	0	0	0	3,713,398	0
ココピート	"	570	10,698,682	0	0	0	10,698,682	0
ココヤシ園芸資材	"	69	1,312,662	279	0	0	1,312,662	279
ビートモス	"	1,228	27,405,492	0	0	0	27,405,492	0
ミズゴケ	"	39	57,046	0	0	0	57,046	0
タケ	"	60	970,075	0	0	0	970,075	0
木 材	m ³	13	210	0	0	0	210	0
** 総 合 計 **	kg	69,969	1,440,924,533	9,430,908	432,524,556	220,726,308	1,873,449,089	230,157,216
	個	2,843	404,805,178	1,085,628	0	0	404,805,178	1,085,628
	m³	13	210	0	0	0	210	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。